

*園長のひとりごと

皆様今年のお正月は、いかがお過ごしでしたでしょうか。

例年以上に、長期に渡るお正月休みを楽しまれた方も、数多くいらっしゃるかもしれませんね。旭川周辺では、比較的穏やかな天候で新年を迎えることが出来たのではないですか。

例年、新年こども園が始まる前には玄関前の駐車場などの除排雪に業者さんが入って頂くのですが、「今年は肩透かし?」と思うほど雪が少なく、極めて短時間で終了となりました。一方、日本海側沿岸部の北海道から鳥取・島根周辺の広範囲で災害級の降雪が見られ、特に1月25日の降雪では新千歳空港から札幌への交通機関が全てストップしてしまうなどでした。

1月の前半から中旬では、プラス気温で「春」を思わせるような日が続くかと思うと、突然の豪雪や低温に見舞われたりと油断できない天候が続いています。この時期お車で遠出を計画されている方は、「万が一」準備として防寒具の他にスコップや牽引ロープ、飲料水なども忘れずご用意下さい。そして、屋根の雪下ろしをされる際は、ご自身の足元と下を歩く人にご注意下さい。

昨年10月の「高市内閣」発足以来、「すぐ解散なの?」の憶測が流れていますが、年末年始にお会いした国会議員からも聞かれなかった「衆議院解散」が、突如年明け早々マスコミから流れ始め「まさか!」と思ったのも束の間、1月27日公示2月8日投開票が告げられ、36年ぶりの真冬の選挙への突入となりました。昨年・一昨年のお正月は、能登沖と宮崎での地震に驚かせられましたが、今年は予期せぬ選挙の実施と、最近の1月は驚かされる事が続いております。

保護者の皆さんも同じかもしれません、各政党の公約も出揃った中で消費税の減税や社会保険料の軽減、給付金の支給、外国人政策などと、突然の選挙となつた為なのか、争点の見え辛さが否めません。

どうしても口当たりの悪い政策は国民から敬遠されてしまいますが、今回各政党揃って示された消費税減税では、嬉しい反面代替の財源をどうするのか良く解りません。

公示後2週間余りの選挙期間ですが、皆さんの生活に直結する課題ばかりですから、口当たりの良い言葉に踊らされることなく、各候補の主張をしっかり聞いて頂き、棄権することなく信頼する候補への投票をぜひお願いします。

